



VOL.17 2018年5月

◆発行◆ 社会福祉法人 浴光会
高木 智匡
〒185-0014
国分寺市東恋ヶ窪 4-5-1
浴光保育園
◆編集◆ 藤井 美樹子

晴れ渡った空に、新緑の青葉。すがすがしさをを感じる季節を迎えました。連休明けの保育園は、友だちとの再会を喜び、お休み中の楽しい経験を語り合う笑顔や、久しぶりの登園での涙など、お子様たちの様々な表情が見られます。新年度がスタートしてあっという間に一ヶ月が経過しました。“5月病”という言葉があるように、ゴールデンウィーク明け以降、大人も子どもも新しい環境に適應するために心身ともに頑張ってきた1ヶ月間の疲れが出る時期です。笑顔で登園していたのに急に保育園に行きたがらなくなった、登園時に泣いてしまう、などお子様の変化に不安を感じているご家族もいらっしゃるかと思いますが、日中は担任が気持ちを受け止め、園生活のリズムを取り戻せるようにじっくりと関わっていますのでご安心ください。お迎えの際には、「頑張ったね！」と笑顔でたくさん抱きしめてあげてくださいね。

今月は、園生活のリズムを取り戻すこと、散歩や戸外で身体を動かし、遊びを通して友だちや担任との信頼関係をさらに深めることを目標として、各年齢や発達に応じた活動を取り入れています。連絡帳やホワイトボードへの掲示と共に、直接保護者の皆様とお会いできた時に、お子様の日中の様子をお伝えしてまいります。ご不安な点があればいつでもお声かけください。

4月の誕生会



今年度初めてのお誕生会がありました。保育士が誕生カードに押してある手形を見せながら、4月にお誕生日を迎えるお友達を紹介します。年齢によって大きさが変化する手形を見ながら、成長を喜びあい、歌をうたってお祝いしました。保育士の出し物は、手品。「すごい！」という素直な歓声と拍手がたくさん聞こえてきましたよ。



お外だいすき！

お天気の良い日が続いています。園庭のこいのぼりのように、元気に走り回ったり、虫探しを楽しんだり、思い思いに戸外での遊びを楽しんでいます。



5月の行事予定

- 8日(火) M.A.T.年少
- 9日(水) M.A.T.年中、乳児健診
- 10日(木) 誕生会
- 16日(水) M.A.T.年長
- 18日(金) 親子遠足
- 22日(火) M.A.T.年少
- 23日(水) 乳児健診、歯科検診
M.A.T.年中
- 24日(木) ほし組、にじ組ふれあい会
- 31日(木) そら組参観懇談



6月の行事予定

- 1日(金) ちゅーりっぷ組参観懇談、3歳参観
- 2日(土) りす組ビデオ参観懇談
- 4日(月) にじ組参観懇談
- 5日(火) ちゅーりっぷ組参観、4歳参観
- 6日(水) M.A.T.年長
- 7日(木) ほし組参観懇談
- 8日(金) 5歳参観
- 12日(火) M.A.T.年少
- 13日(水) M.A.T.年中、乳児健診
- 14日(木) 誕生会
- 20日(水) M.A.T.年長
- 21日(木) そら組、ほし組ふれあい会
- 23日(土) あひる組ビデオ参観懇談
- 25日(水) 乳児健診
- 26日(火) M.A.T.年少、乳児健診

親子遠足について

幼児クラスでは、5月18日(金)に親子遠足を予定しています。西立川の昭和記念公園に集合していただき、体操やゲーム等でお友達や保護者の皆様と楽しいひと時を過ごします。そして、お子様たちが心待ちにしているお弁当タイム後、自由解散となります。



保育参観・懇談会・面談について

5月末から6月初旬にかけて、各クラスの保育参観と懇談会があります。0、1歳児クラスは普段の様子のビデオ、2歳児、幼児クラスは実際に保育園で過ごす姿をご覧いただき、懇談会で、担任から4月からのお子様の様子や日々の保育についてお伝えします。参観の週には個人面談も承ります



お知らせ

- 日によってお天気が変わりやすい季節です。気温に応じて衣服の調整をしますので、ロッカーには長袖と半袖を両方ご用意ください。よろしくお願いします。
- 今月末～来月初めには、各クラスにて参観、懇談、個人面談があります。当日の予定、出欠確認は各クラスのホワイトボードでお知らせしますので、ご確認をお願いします。
- 4月6日～15日に春の交通安全運動がありました。厚生労働省からは「春の全国交通安全運動実施計画」として、保育園を利用されているお子様とその保護者に対して、自転車乗車時のヘルメットの着用促進と、正しい交通ルールと交通マナーの周知をお願いされております。ご協力をお願いします。

編集後記

ゴールデンウィーク前半に、三浦海岸まで車で行ってきました。29日の夜に思い立って出発し、夜中に到着！温泉に入ってすぐ眠ってしまいましたが、翌日は新鮮なお刺身定食を食べ、心身共にリフレッシュできました。お休みの日にゆっくり自宅で寝るのも良いけれど、たまには外に出て、日常とは違う経験をするのも大切だなあと実感しました。

副園長 内堀 真紀